

表紙に使用している画像は、創作和紙です。今回使用している作品は、色染めした楮を和紙で挟んで造形した作品です。このようにさまざまなスタイルの新しい和紙が生まれています。

特集

3常任委員会から町へ

4つの要望

平成31年度一般会計予算

議員が選んだ注目

15事業

P.2

一般質問に 11人が登壇

議員のつぶやきにも注目

P.12



さくらを見ながらモザートのランチ最高だね！

No.91 おがぎが 2019 春 おがぎが 3月定例会 埼玉県小川町議会



わたしのひとコト「だから小川が好き」

P.18



佐藤和子さん

おみこしを担ぐ
伝統を継承して
ほしいですね。

清水一美さん

地域農業振興と
夢の実現のため
自家農業に従事
しています。



応募総数279

P.11

議会広報
全国コンクール

第5位 優良賞受賞



各ページ下にも
町のみんなから
ひとこと！



— “まちづくり” へつなげる — 「調査研究のまとめ」

当議会では、毎年3月定例会で各常任委員会における調査研究のまとめを、会議規則に基づき「議長」に報告しています。町が取り組む多くの事務事業から、常任委員会の所管ごとに重要課題を見定め、先進地での視察研修を行っています。
今回は、調査研究のまとめをレポート仕立てで報告します。



研究テーマ

行財政改革

日時 平成31年1月20日(日)～21日(月)
場所 千葉県 富津市
出席委員 松葉幸雄委員長 笠原規弘副委員長
戸口 勝・松本修三・宮澤幹雄・
田中照子 各委員



【総務常任委員会】

【調査研究のまとめ】

平成26年8月30日、「4年後には財政再生団体へ」と報道されてからわずか4年余り、富津市は不覚にも張られた不名誉なレッテルから脱却し、短期間で財政運営を立て直した。市はその年に「財政健全化対策会議」を副市長を中心に、経営改革に向け最小の経費で最大の効果を上げるための収支改善策を推進した。当町においても消滅自治体とささやかれ危機的な財政状況で、経営的視点を備えた意識改革が必要である。また、大胆な発想とスピード感を備えた行動力を持って、この難局を乗り越えなければならない。将来にわたり持続可能な行政運営執行のため、今こそ町長には町の先頭に立ちリーダーシップを発揮していただくことを強く期待する。

研究テーマ

駅周辺整備とまちづくり

日時 平成30年11月12日(月)～13日(火)
場所 群馬県 明和町(東武伊勢崎線川俣駅)
出席委員 井口亮一委員長 柴崎 勝副委員長
金子美登・山口勝士・大戸久一 各委員



【経済建設常任委員会】

【調査研究のまとめ】

群馬県の明和町及び東武伊勢崎線川俣駅を訪問し、駅周辺整備とまちづくりについて学んだ。明和町と当町には共通するところも多く、目指す駅の構造やその規模、そして建設費用などとても類似していたため、見聞きたことの全てに現実感があり、先進地からの適切な示唆と受けとめた。さて、小川町駅周辺整備を推進するに当たり、毎日1000人もの利用客が乗り降りしている駅の利便性向上を図ることはもとより、コンパクトシティ・プラスネットワークの理念に沿った、住居・医療・福祉・商業・公共交通などの都市機能の誘導により、町の活性化に大きくつながる、まちづくりの総合政策であることを肝に銘じスピード感を持って進めなければならない。

研究テーマ

学校給食センターのあり方と食育

日時 平成30年11月5日(月)～6日(火)
場所 岩手県 遠野市総合食育センター
出席委員 島崎隆夫委員長 高橋さゆり副委員長
根岸成美・笠原 武 各委員



【厚生文教常任委員会】

【調査研究のまとめ】

遠野市総合食育センターは、市長の「総合力で取り組みなさい」の号令で、構想から建設に至るまで総勢7課によりつくり上げられた。市内の全小中学校16校の給食を賄うのと同時に、「食育の推進」「地産地消の推進」「高齢者への配食」「災害時の炊き出し」の機能を有し、市民の健康を『食』で支える考えを備え持つ。当町では、老朽化した施設のあり方を検討・選択する時期は近いと考えるが、給食は「地域の食文化の継承」、「健康意識の醸成」も含まれている大切な事業である。さらに、医療費抑制や健康寿命の延伸を考えると「食育」も重要である。今後は、各課が持つ経験と知識を生かし、全庁での早期取り組みを強く望む。

町長に 「要望書」を提出！



3常任委員会での調査研究のまとめは、本会議で議長に報告された。議長がしっかりと受けとめて町長に要望書を提出。町長のリーダーシップに期待する。

要望書

要望1 「どれも平等に扱う」といった考えを一時的に廃止し、町職員、議会をはじめ町民までも痛みを伴った経営施策を展開する。持続可能な行政運営のため、今こそ、町長には批判や非難を恐れることなく、町の先頭に立ってリーダーシップを発揮していただきたい

要望2 小川町駅周辺整備を推進するにあたり、コンパクトシティ・プラスネットワークの理念に沿った、住居、医療、福祉、商業、公共交通などの都市機能の誘導により、町の活性化に大きくつながる、まちづくりの総合政策であることを肝に銘じ、スピード感を持って進めること

要望3 現在配食されている学校給食は、まさにふるさとの味である。給食センターの在り方を考えるうえで、単に財政上の問題だけで進むことなく、地域の宝である子供たちの将来への投資の意味を考慮しつつ、早期判断を望む

要望4 食育は、心身の健康に影響が大きいとされている。医療費の抑制や健康寿命の延伸への繋がりを含めて、幼少期から高齢期に至るまでの指導、及び支援をさらに強化することを望む



報告の全文は、町ホームページの「会議録の検索と閲覧」ページでご覧いただけます。(3月定例会の会議録は5月末ごろ掲載予定です)

若者未来会議の設置
16万円

総合戦略策定に若者の意見を取り入れる

国も県も市町村も、その未来は若者に託される。若者を大切にしない社会に未来はない。
笠原 武

放課後子供教室
940万円

大河小・小川小に続き、みどりが丘小学校に開設

多くの方の協力によって、放課後の子供たちの活動の場が拡大。安全安心だけでなく、新しい出会いや新しい活動で成長を見守る。
山口勝士

成年後見申立等支援
64万円

家族がなく申し立て等により町長支援する

認知症高齢者等がますます増加し、後見人の需要も一層高まっていくと見込まれる。後見の需要増に対応した予算の増額を。
井口亮一

小川町版ネウボラ事業
651万円

妊産婦や乳幼児等の課題や支援ニーズに的確に対応する

支援プランを作成することにより、妊娠前から出産・子育て期の切れ目のない支援体制が整った。安心して子育てができる。
高橋さゆり

コミュニティ・スクール
22万円

保護者や地域住民が権限と責任を持つ学校運営に参画する

学校が抱える諸問題点にしっかり向き合えたという意識調査が報告されている。地域力を生かし、着実な効果を生み出している。
笠原規弘

デマンドタクシー補助金
2100万円

自宅と乗降ポイントを利用した交通手段

現状、成功している事業と言えるが、一層の充実を願う。委託先との意見交換の場を多くつくっていただきたい。
松葉幸雄

住の魅力PR事業
30万円

移住促進のための町内体験型ツアー

和紙すき体験等、泊を伴うツアーで小川町の魅力を堪能してもらい、交流人口以上、定住未満の関係人口増に繋げる取り組みを評価。
田中照子

ノンステップバス導入
300万円

小川町駅から小川パークヒル路線に3台のバス導入支援

さらなる支援で、ほかの路線にもノンステップバスの導入拡大を。
金子美登

平成31年度
当初予算

可決

一般会計

88億 4400万円

(前年度比0.7%減)

※金額は万円未満切捨

平成31年度の一般会計予算は、

- ①地域の活性化 (8658万円)
- ②子ども子育て環境の充実 (1億1152万円)
- ③安全・安心のまちづくり (2億4816万円)

を重点分野として、さまざまな事業が予算化されました。

期待を寄せる新しい施策や、課題を抱えたままの事業もありました。それらすべてを皆さんにお伝えしたいのは山々ですが、今回は趣向を変えて、全議員に注目した事業を紹介してもらいます。あわせて、議員ならではの視点についても示してみました。ぜひ、ご覧ください。

(重複を避けるため、1議員1つの掲載とさせていただきました)

学校再編等審議会委員報酬
52万円

審議会設置条例に基づき、学校再編等に関する諮問に対する答申を出す

4年前から訴え続けてきたことが、ようやく一歩進む。みんなが本気で取り組めば、地域の宝である子供たちのためになるはずである。
島崎隆夫

土砂災害ハザードマップ作成
330万円

20ブロックに分けて詳細版を電子データで作成

当町で起こり得る災害の中で、最も現実的とも言える土砂災害。「進化したマップ」を、私たちは生かさなくてはならない。
宮澤幹雄

鶴巻公園遊具等整備
502万円

幼児から高齢者まで交流できる遊具や健康遊具を設置

子育て支援の拠点、多世代交流の場としてココットを中心に、隣接エリアへもその考えを広げた。点から面へ新政策の展開が楽しみ。
戸口 勝

介護保険事業計画策定
345万円

第8期介護保険事業計画を策定するため委託料

町の高齢化率は36.5%超、ますます保険料の個人負担は増加の一途である。いかに予防事業により抑制できるかが今後の課題。
根岸成美

地域学(おがわ学)構築
143万円

地域理解・課題解決能力を養うおがわ学を構築

地域の歴史、小川町の歴史、課題等を勉強し理解し郷土愛を育て、この町、自分の住んでいる地域を好きになってもらう。
大戸久一

仙元山周辺花のまちづくり
83万円

見晴らしの丘公園内にヤマザクラ等を植樹

人々の心に伝わる美しい事業。清流槻川の水面に映る仙元山の花木を連想すると、「小京都おがわ」の唄が聞こえてくるようです。
松本修三

ため池の耐震点検
2030万円

災害時の安全確保のため耐震点検を実施

平成30年7月豪雨による湖沼の決壊を忘れてはならない。点検事業は、町内すべての「ため池」も視野に入れるべきだ。
柴崎 勝

注目した事業名
事業予算

事業の概要………

議員目線でコメント………

議員名

議員が 質した 平成31年度 当初予算 267 のこと

Heisei 31th Initial budget Question

「予算議会」と言われる3月定例会は3週間に及ぶ長丁場。一般会計及び各特別会計予算を中心に、計26議案に対する質疑はなんと267！注目のやり取りをピックアップ、わかりやすくまとめてみました。ぜひ、ご一読ください。

詳しくはインターネットからご覧いただけます。「小川町議会 会議録」で検索してみてください。
※3月定例会の会議録は5月末ごろから見られます。



小川町議会
会議録

これが
予算書



Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小中学校再編について」

地域の歴史や文化から 子供たちに教える「おがわ学」

計画の詳細と目的は。

AQ これは県、町、町教育委員会、小中学校・小川高校と連携し、「おがわ」という地域を学ぶ事業となります。コーディネートや関係者が、3年をかけてテキスト作成と学習過程を構築していきます。子供たちの成長段階に合わせて、考え、学べるようにし郷土愛、問題解決能力、未来を生き抜く力を育ませることを目標としています。

健康マイレージ

AQ 登録状況と課題は。

登録者の多くは高齢者です。健康に関するデータが良好なので今後は若・中高年層にも広めていけるよう努力していきます。

放課後子供教室

AQ 実績と課題は。

新年度は、3教室目をみどりが丘小学校に開設します。ま

学校運営協議会

Q コミュニティ・スクールの内容と目的は。

た、既存の教室では利用児童の増加もあり、教室を増設しました。協力いただく方の確保も課題となっていますので、各校での開校曜日を変えて兼務ができるようにしていこうと考えています。この事業を通じて、改めて子供の居場所をつくることの重要性を感じています。今後は、他課との連携も視野に入れて考えていきたいです。

ラグビーワールドカップ

AQ 対象学年と目的は。

中学3年生を対象に、熊谷ラグビー場で観戦します。国際化に対応する能力醸成のきっかけとなることを目的とします。

学校再編等審議会

AQ 審議会の進捗は。

公募を締め切り、委員を選考しました。第1回審議会を2月に、第2回審議会を3月中旬に開きます。新年度には、計5回の会議を持つ予定です。

子育て世代包括支援

Q 小川町版ネウボラ事業

の開始とは。

A 既存事業のほかに、妊産婦や乳幼児等の課題や支援ニーズに的確に対応するために必要に応じて支援プランを作成します。

ふれあいプラザおがわ

AQ 運営費増額の理由は。

エアロバイク8台の再リース料と各トレーニングマシンの経年劣化による入れ替えの費用

おじいちゃん 遊びにいこうよ 多世代交流の場 鶴巻公園整備

Q ココットと一体感をもった展開や、横断歩道の整備を期待するが。

A 多世代交流の推進を図るため、すべり台等の乳幼児向け遊具や高齢者向けの健康遊具を設置する予定です。横断歩道については研究していきます。

森林経営管理集積計画

AQ どのような計画なのか。

現在、森林の循環サイクル（植える→育てる→切って使う→植える）が崩れており、森林の多面的機能の発揮に向けて、

環状1号線

AQ 平成31年度予定する工事は。

（仮称）新槻川橋前後の盛土部と橋面工事、主要地方道（熊谷小川秩父線）との交差点設計を予定しています。用地交渉は、日本郵便（株）と小川郵便局の

ココットの行事は盛りだくさんで好評。4月から子育て世代包括支援センターとしての機能が稼働し、小川町版ネウボラ事業が本格的に開始。



解説 ネウボラ1

北欧フィンランドで生まれた制度。妊娠中から子供が就学するまで、子育てのさまざまな支援を一つの窓口で提供すること。

出生数が昨年114人と聞いています。中学校は1校でよいのでは。



(T・Tさん・30代)



小学校の各学年のクラスは、2クラスはほしいです。

(F・Sさん・30代)



登下校の安全も優先して考えるべきでは。

(S・Fさん・37歳)

移転契約について、早期に締結できるように協議中です。

オガワバイオ

Q B I O認定者が増えることが、おがわ野菜のブランド力を高めることにつながる。さらなる支援をすべきでは。

A 有機農業を推進する当町では微生物がもたらす有効性について認識しており、それを町内外へ発信していきます。引き続き土づくりのための補助金による支援も行なっていく予定です。

ため池耐震点検

Q 平成31年度、対象の場所は、小川新沼、大豆五駄沼（上下）、赤芝沼、日附田沼の計5カ所の点検を予定しています。地震だけではなく、豪雨災害による決壊を防ぐために、岩盤・土質のボーリング調査等を実施します。

和紙製新商品開発

Q 埼玉県はアニメの聖地がたくさん存在する。また、当町には世界のホンダがある。さらに

和紙を売り込み、有効な予算活用をすべきではないか。

A 和紙職人あつての商品開発となります。コンサルディング業者にサンブル商品を依頼し、それを和紙工業協同組合に作成依頼し製品化できるかプレゼンしていきます。和綴じ帳、マウスパッド等を思案中です。

ノンステップバス

Q 事業の詳細は。
A 全ての町民が移動しやすい公共交通利用環境の形成に向けて、段階的にバリアフリー対応のバス車両導入を支援していきます。平成31年度は、「小川町駅から小川パークヒル路線」に



低床型で、段差のないノンステップバスは幼児から高齢者まで、多様な乗客が安心して利用できます。

若者の「考え」・「視点」を政策へ

Q 「若者未来会議」の構成メンバーと内容は。
A 第2期総合戦略策定のため、本年成人を迎えた方や町内の高校生、町外の小川高校生から自由な意見をじっくり聞きたいと

思います。代表者には、総合戦略推進会議に出席していただきます。

ハザードマップ詳細版

Q 土砂災害ハザードマップ詳

細版作成とは。

A 大判であったものを20ブロック程度に分け、より詳細なものを作成していきます。あわせて10カ所の警戒区域情報を追加します。

DV被害者一時保護

Q 平成30年度の状況は。
A 被害者緊急一時保護は1月

末現在0件で、相談件数は延べ23件です。お子さんがいる場合は、虐待につながる危険性もあるので子育て支援課・町民課・教育委員会等と連携し対応に当たっています。

住の魅力PR事業

Q 平成30年度は台風で中止となったが、新年度の実施は。
A 昨年度は、12組30人の予約

をいただきました。開催を望む声がありますので、平成31年度はより充実させた内容で開催します。

デジタル放送情報

Q テレビ埼玉で、小川町情報をあまり見かけないが。
A 各課の事業の告知や情報提供のために、活用を図ってもらえるよう調整していきます。

福祉避難所

Q 想定に基づく資機材整備補助金となっているのか。

A 災害時1200人が避難生活を送ることを想定し、そのうち40人程度の要支援者を見込んでいます。現在2カ所の施設を指定しており、さらにもう1カ所考えています。協力いただける施設があれば、増やしていきます。

行政バス

Q 利用向上を図るため、使用規程の緩和を。

A 現在101団体が利用しており、団体・距離・回数・宿泊などの制限をしています。町の行政に資する利用を前提の上、規程の緩和を検討していきます。

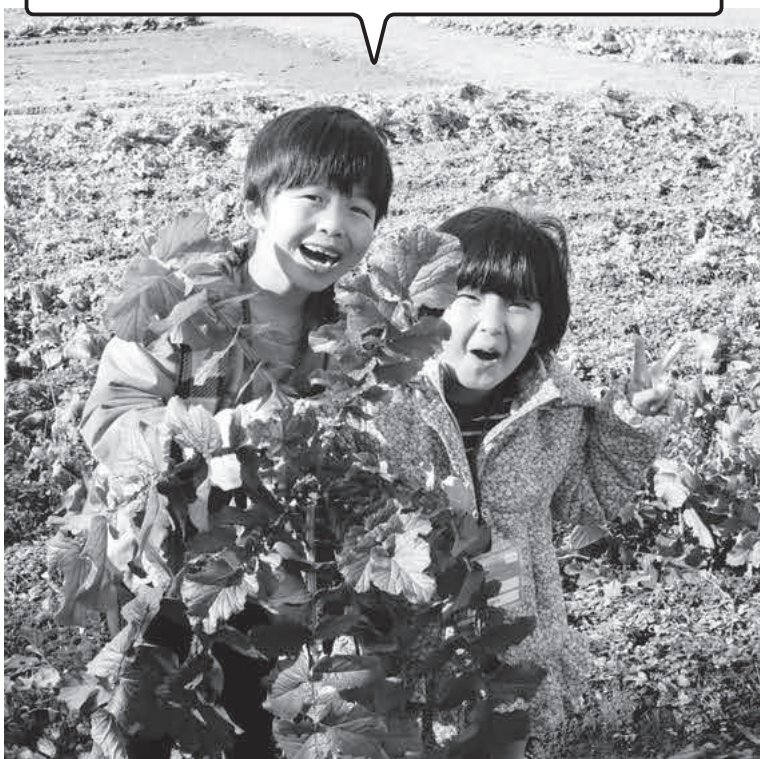
やはり人口減少の影響が 歳入減の分析と対策は

Q 歳入減の要因は。
A 就労人口の減少により個人住民税の減収（1159万円／0・8％減）、及び償却資産の減価により固定資産税の減収（3836万円／2・4％減）などが主な要因です。

Q 「財政運営指針」2に基づき財源確保「町有財産の売却や有効活用促進」また「手数料・使用料等の受益者負担の適正化」に向けた具体的な努力は。

A 活用見込みのない町有地は売却をしていきます。すぐに利用予定がない場所は、貸しつけなどをしていきます。現在小川高校隣の町有地は、下水道工事の事業者へ貸しつけをし、使用料をいただいています。また、公共施設等の手数料・使用料については、受益者負担の適正化の考えから改定を検討中です。

小川町の魅力を体験して、住むきっかけづくりをした「住の魅力ツアー」。野菜を収穫し、おいしく食べました。



解説 財政運営指針2

今後の事務事業を着実に推進するための財政運営の方向を示す指針。詳しくはこちらのQRコードをごらんください。



(A・Oさん・47歳)

子供たちのために適切な判断してほしい。



(T・Tさん・51歳)

母校がなくなるのは寂しいけど…。



(N・Sさん・41歳)

どのような諮問がされるのか、知りたいです。

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小中学校再編について」



一部事務組合議会から報告

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会

斎場改築に着工しています

比企広域市町村圏組合議会

(平成31年2月5日)

平成31年度の一般会計及び各特別会計の予算総額は、42億1060万円（小川町の負担額は5億1164万9000円）。斎場の改築（平成33年完成予定）が始まっています。

ごみ処理・し尿処理

施設維持の修繕工事を実施

小川地区衛生組合議会

(平成31年2月21日)

平成31年度の予算総額は、12億7179万8000円（小川町の負担額は3億4470万2000円）。当施設の長寿命化を図るためには、ごみの減量化・資源化が課題です。

可燃ごみ処理

稼働予定が延期されました

埼玉中部資源循環組合議会

(平成31年2月4日)

平成31年度の予算総額は、7億7000万円（小川町の負担額は4138万1000円）。今年度の主な事業は、土地の購入、物件補償、事業者選定など。事業スケジュールの見直しがされ、施設の稼働予定が平成35年度末に延期されました。

議会広報全国コンクール

2年連続 優良賞を受賞！

地道な活動が認められ、2年連続の全国第5位優良賞を授かりました。「町政へのコミットメント(関わり合い)」がさらに深化された」「議会の責務と議員の主張が強く伝わる紙面編集」等、恥ずかしくなるような好評もいただきました。が、「最優秀賞の寄居町に負けるな」と議長がポツリ。まだまだ、私たちの「冒険」は続きます。議会広報発行特別委員会一同



平成30年度町村議会広報表彰
(第33回広報コンクール)



議会運営
委員会から

議長へ最終答申

昨年7月から議長の諮問を受け、議会改革の議論をしてきた。その中でも議員定数のあり方については、人口規模に見合った議員数の検討として専修大学小林弘和教授を招致し勉強会を開催した。その後2度にわたる委員会審議を行なった結果、「人口規模3万人において住民サービスを十分に提供するためには、現行の16人が妥当である」との答申書を提出した。

ほか23議案は原案
のとおり可決・同意
しました



賛否が分かれた議案をお知らせします

議員名	審議結果	笠原武	井口亮一	笠原規弘	田中照子	山口勝士	高橋さゆり	松葉幸雄	金子美登	島崎隆夫	戸口勝	大戸久一	柴崎久勝	宮澤幹雄	根岸成美	松本修三
議案名																
平成31年度一般会計予算	可決	×討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	可決	×討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	×討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※（○は賛成、×は反対、欠は欠席、討は討論）議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

特別会計予算に関する質疑

国民健康保険

Q 生活習慣病重症化予防策の詳細は。

A 糖尿病患者が重症化すると、糖尿病性腎症となつて、人工透析に移行することがあります。町は重症化を予防するために、国保加入者に対しレセプトや健診から抽出したデータをもとに、医療機関への受診勧奨をします。さらに医療機関に対し保健指導の協力を求めています。

介護保険

Q 地域介護予防活動支援や地

域リハビリテーション活動支援で、事業拡大の詳細は。

A 百歳体操の効果が良好であり、新規に5カ所を増やします。同時に、理学療法士と口腔ケアのフレイル予防の講習会などを行ない事業の充実を図ります。

認知症検査

Q 対象者と取り組みの詳細は。70歳になる方（675人）を対象に受診を促します。平成30年度は、受診券を取りに来ていただきましたが、新年度は送付する方式とし、受診者を増やしたいと考えます。

がん検診委託料

Q 155万円の減額理由は。

A 受診者減によるもので、特に乳がん検診においては、予定より45人少ない結果でした。受診券の配付方法を見直します。

民間保育園等児童措置費

Q 180万円の減額だが、なぜ有効に活用されなかったのか。

A 町内3保育園に、国・県の補助金制度の利用を案内しまし

た。新たな保育士を募集しましたが、人材の確保ができずに事業の利用がありませんでした。

電気料金の増額

Q 防犯灯・道路照明灯の電気料金150万円増額の理由は。

A 燃料費の高騰により、電気料金の値上げがありました。今後は、値上げに影響されないように消費電力の少ないLED化

を進めたいと考えます。

空き店舗補助金

Q 121万円減額されたが詳細は。

A 利用者が予定に届かず、3件のみの利用でした。新年度には、制度の見直しを行ない、利用しやすくして事業を推進します。



補助金（改修費と家賃）を活用し空き店舗の再生、にぎわいを復活させ新たな可能性が広がりをみせる空き店舗活用事業。



遠くなると心配ね。
バスが出るというけど。

(S・Yさん・67歳)

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう

「小中学校再編について」

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。



厳しい財政だからこそ、今でしょ！

とくち まさひろ
戸口 勝が問う

町民会館の管理運営は一本化を

Q 一つの建物で、各階別々の管理はもつたない。財政難と人口減少の現実を勘案し、簡素な体制を柔軟に考えていく必要があると思うが。

A 生涯学習課長 文化やコミュニティ、また生涯学習の拠点として各々役割を担っています。複合施設として生まれ変わるに当たりすぐに一本化は難しいですが、利用者の声で分かりやすく、親しみやすい施設にまずは努めます。

旧中央公民館の跡地利用は

Q 町単独の開発は厳しいので、民間の手法を活用して店舗と福祉の窓口、商工団体等の複合施設を考えてみては。

A 政策推進課長 官だけでも民だけでもない相乗効果を期待できる施設として、また駅前広場整備の代替地利用は選択のひとつです。

伝統工芸伝承・育成の地へ

Q 埼玉伝統工芸会館と旧上野台中学校エリアを、大学や専門学校サテライト分校として誘致交渉してみないか。

A にぎわい創出課長 国や県等関係機関への働きかけは、現在行っています。貴重な提案として、ご提示のエリアに限らず町域への設立誘致ができるか研究してみます。



伝承者育成の拠点にしていくことは、何ら不自然ではない埼玉伝統工芸会館。



先生がへとへとでは、子供たちをよく見られません。

かさほら たけし
笠原 武が問う

教職員の長時間労働の改善を

Q 町立小中学校教職員の直近の残業時間調査の結果は。

A 学校教育課長 平成30年12月における1カ月間の町立小中学校教職員の勤務時間を除く在校時間の平均は、約29時間20分でした。

Q 超過勤務削減には教員数を増やすことが基本だが、それ以外に町教育委員会はどんな取り組みの努力をしているか。

A 学校教育課長 県教育委員会に対して基本定数以外に加配や特配3を申請し、町立全小中学校に加配教員が配置さ



プリム跡地の堰堤。この中に150万㎡もの残土搬入は自然破壊。

プリム跡地への残土搬入計画は中止を

Q 今回、さくら太陽光センター合同会社による標記計画については、自然破壊や大雨時の土砂崩れも予想される。町は地域住民の「絶対反対」の意向に沿って、県に対し「町としては反対」の態度をはっきり示してほしいが。

A 環境農林課長 説明会では多くの住民から不安・不信・疑念の声がありました。県と緊密な連携を図り、対処していきたいと思っています。



許可後は1日400台の車が3年もの出入りですよ。

かね こよしのり
金子美登が問う

旧プリム跡地の残土処分問題は

Q さくら太陽光センター合同会社が、旧プリムローズ跡地を借り、残土処分事業を行なうという。2回の説明会で地元の誰1人納得していない。そこで何う。環境省の「地質分析結果証明書」を確認し、残土を埋めるといふがチェックは可能か。

A 環境農林課長 「土砂の採掘場所の届け出」を3カ月ごと、「土砂の汚染状況の結果」を6カ月ごとに提出するものとしています。

Q 「地質分析結果証明書」には放射能のチェックがないが。



再びコミュニティと山河の破壊、汚染の舞台となるか。旧プリムローズC・C入り口。

A 環境農林課長 土地の汚染調査には、放射能濃度の項目はなく、事業計画をしっかりと確認する必要があると考えています。

Q 1日400台のダンプの出入りによる道路の破損や渋滞は。

A 環境農林課長 道路の損害や渋滞に関しては適切な指導を考えています。

Q 許可に関する法令は、県森づくり課（森林法十条の二）、小川町農業委員会（農地法五条）、東松山環境管理事務所（県生活保全条例及び土壌汚染対策法）であるが、いまだどのような状況なのか。

A 環境農林課長 県では昨年12月までは相談を受けたとのこと。農業委員会への話はありません。東松山環境管理事務所へは事前相談があったそうです。

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小中学校再編について」

再編で学校がなくなってしまうの。心配です。

解説 加配・特配3
学校ごとに決められている教員定数に上乗せて教員を配置すること。

小川町の教育が充実するのであれば、考えていってほしい。

人口が3万人を下回る状況では、GOだね。

(A・Sさん・32歳)

(N・Sさん・54歳)

(S・Sさん・38歳)



皆さん、合言葉は「自分の健康は自分でつくる」です。

高橋さゆりが問う

健康寿命につながる施策展開を

Q 小川町健康増進計画・食育推進計画「元氣アップおがわプラン」を見ると、当町では脳血管疾患での死亡率が県平均よりも高くなっている。脳ドックの費用助成の考えは。

A 町民課長 県内では、国民健康保険あるいは後期高齢者医療保険の加入者を対象として、人間ドックとあわせて脳ドックの助成を36市町で実施しています。今までは検討をしてきませんでしたが、当町に合った形態を調査していきます。

Q 昨年度末に小川町歯科口腔保健の推進に関する条例が制定された。歯科健診の費用助成は。

A 健康福祉課長 平成31年度は、子育てや仕事に忙しい世代に歯と口腔ケアの大切さを周知し、定期的な歯科健診の受診につながるよう取り組みます。

学校給食センターの新設を

Q 昭和55年稼働で老朽化が進んでいる。学校再編とセットで考えているのか。食育の観点で複合施設の考えは。

A 学校教育課長ほか 学校給食センターの最も重要な役割は、安心・安全な給食を配食することです。学校の再編がどのように進んでも独立して考えています。複合施設も視野に現在検討しています。



学校給食センターは、老朽化のため春休み中でも職員の点検・整備が欠かせません。



地域のみんなで、命を守りあえるように！

山口勝士が問う

誰もが安心して安全な地域を

Q 土砂災害区域内に集会所がある地域の住民は指定避難場所が遠く、いざというときにどうなるのか心配しているが、防災地域支援課長 近くの事業所を緊急避難場所にとの地域からの要望を受けており、協議しています。

Q 要支援者の方々の避難に対して、個別の丁寧な避難計画や、避難訓練を実際に実施することが重要で、地域の安心につながるのではないかと。

A 防災地域支援課長 町では地域と深い関わりのある民生・児童委員に對

して、内容の充実した個別計画の作成に協力いただいています。

要介護になっても地域での交流を

Q 要介護状態になっても、可能な限り「いきいきサロン」や「はつらつクラブ」など地域の活動に参加し、交流を大切にしたい。どうだろうか。

A 長生き支援課長 社会福祉協議会の事業である「いきいきサロン」は、実施している地域が参加の条件を決めています。おおむね65歳以上の方という以外は、地域の実情に合わせてなるべく参加の範囲を狭めないようお願いしています。「はつらつクラブ」についても、制度を柔軟にすることで、参加しやすいよう検討しています。



親しい人と会っての会話が元気の源になる。(小川Aはつらつクラブ)



町と住民が連携して、町の空き地に芝生を育ててみよう。

井口亮一が問う

交流が生まれる芝生広場を

AQ 来年度事業の中で、世代を超えた交流が生まれる芝生広場はできないかと。生涯学習課長 校庭やグラウンドなどの広場の芝生化は、環境や教育、健康面など子供から高齢者まで世代を問わずさまざまな効果が期待されるものと認識しています。しかしながら現時点では、芝生広場を実現する事業の予定はありません。

AQ 日本サッカー協会が実施している「グリーンプロジェクト」は。生涯学習課長 公益財団法人日本サッカー協会が芝生の校庭や広場は

豊かな地域社会の形成に重要な役割を果たすと考え、芝生化を推進するために芝の苗を無償提供している事業と承知しています。この制度を活用して、芝生化を実現する活動のさらなる推進や工夫はできないかと。

A 生涯学習課長 既存施設のグラウンドでは、芝生化することによる不具合が生じる競技もある上、維持管理の費用や人的体制も整わないと考えられます。

AQ みどりが丘1丁目の町が所有する空き地で、芝生化の実証実験はできないか。政策推進課長 みどりが丘自治会及び住民からの相談や要望があれば、具体的に考えていきます。また、自治会や地域住民の協力があれば、芝生化の実証実験は可能なものと考えています。



みどりが丘1丁目の町が管理している空き地。



生徒が少なくて単級だけど卒業式に感動した。

(S・Rさん・47歳)



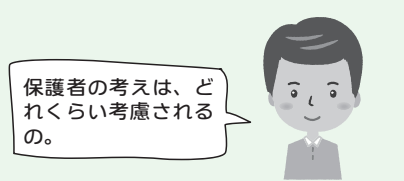
小学校は4校でいいと思う。でも移動手段の確保次第。

(K・Sさん・62歳)



器に見合った最高の教育にして！

(H・Mさん・38歳)



保護者の考えは、どれくらい考慮されるの。

(T・Nさん・48歳)

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小中学校再編について」

疲れて眠る、そんな毎日を過ごしてほしいですね。



かさはらのひろ
笠原規弘が問う

「小川町教育」の充実と発展を

Q 中一ギャップ解消の為、小学校5・6年生に対し、早期に中学校の部活動見学会を開催してみてもどうか。

A 学校教育課長 「体験入部を含め、早い段階で中学校の生活を知る機会是有効な手立てである」と考えます。学校と検討を進めていきます。

Q SNSへの危険な書き込み等のネットパトロールを求めたいが。

A 学校教育課長 必要性は十分に認識していますが、人的・技術的にも学校だけでは対応できない現状にあります。

Q 子供たちを守ることは、大人に課せられた永遠のテーマ。虐待根絶に向けて、当町が「今、すべき行動」とは。

A 子育て支援課長 現在、当町では関係機関と緊密な連携が機能していると思っております。引き続き、「児童福祉法」等の法律や条例に則り、理不尽な要求にも屈しない「チーム子育て支援課」として、ひるむことなく対応していきます。

Q 虐待根絶に向けて、学校及び教育委員会が「今、すべき行動」とは。教育長ほか 根源的には、虐待をしない人をつくるのが重要です。学校は虐待を早期に発見できる立場にいることを認識し、子供たちの様子や行動をみる目を育ててはならないと考えます。



寒い冬。厳しい朝練を乗り越え、心も体も大きく大きく成長していきます。

児童虐待防止の第一歩は住民の189の気づきから。



たなかてるこ
田中照子 が問う

児童虐待防止対策の取り組みは

Q 虐待防止に有効な「子育て世代包括支援センター」の設置状況は。

A 子育て支援課長 この制度は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実施することを目的としています。当町では、コソット「小川町子育て総合センター」で、平成31年4月からの事業展開を予定しています。

Q 児童生徒の学校間における進学・転学に伴う情報共有の現状は。

A 学校教育課長 法令に基づく進学・転学先への指導要録等の文書の送付

はもとより、支援が必要な児童生徒に適切な対応を行なう上で、学校間の情報共有は重要であると捉えています。必要に応じ、対面や電話連絡など適切な方法で引き継ぎを行い、学校間の連携を図っています。

和紙体験学習センターの今後は

Q 保存活用と登録有形文化財への登録の考えは。

A にぎわい創出課長 今後、和紙の技術伝承や和紙産業の振興を通じて町の活性化を図る上で建物をどのように保存・活用するのか、文化財保護法に規定された登録有形文化財制度をはじめ、産業・観光、まちづくり等、さまざまな視点から検討し有効活用していきたいと考えています。



昭和期、官民一体となり産業を支えた旧埼玉製紙試験場（和紙体験学習センター）。

年間人口減少数580人、日本一思い切った政策を。



おおとひさかず
大戸久一が問う

町の魅力ある資産の有効活用を

Q 旧上野台中学校の再利用は。また、学校再編になった場合、校舎跡地の利活用は。

A 政策推進課長 特別養護老人ホームや子育て支援施設等で検討中です。また学校再編後の小中学校利活用は、公共施設や官民連携、民間等による複合施設の利活用など検討していきます。

Q 町内1600戸の空き家、店舗をどのように再活用していくのか。

A 都市政策課長 区長、民生委員等を通じ所有者の本音を探り、町として

情報共有を深め、空き家バンク、移住サポートセンターで対応していきます。

Q 第5次総合振興計画の企業誘致予定地で、平成18年以前から開発されないうまの区域が数箇所あるが、「道路つけが悪い」「操業までに時間がかかりすぎる」などの問題を抱えている。当町の人口減少数日本一を重く受けとめ、過去の成功例や失敗例を参考にホンダエンジン工場周辺でのゾーン変更を真剣に検討するべきでは。

A にぎわい創出課長 必要に応じ、企業誘致エリアの変更、見直しを検討していきます。今後も町の土地利用構想に基づき、企業ニーズや地権者の意向が整う場所から優先的に企業誘致に取り組んでいきます。



有効活用を待ち望んでいる町のお宝。



どうなっていくのか不安。でも期待。

(K・Tさん・38歳)



やっとですか？僕たちのときも部活を選べなかった。

(K・Tさん・31歳)



子供が少ないのでしかたないですね。

(H・Aさん・56歳)

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小中学校再編について」



よい事業をしても伝わらないといけない。伝え方を「Let's think」

しまきたかお
島崎隆夫が問う

今考えるべき問題に町の動向は

Q 「ふるさと納税」の現状と課題は。また、ガバメントクラウドファンディング4型を増やしていく取り組みは。

A 政策推進課長 平成30年度の寄附額は、約450万円です。一方、町民の他自治体への寄附額は、1178万円でした。魅力ある返礼品を創出することも大切ですが、当町に訪れていただく体験型の返礼を増やし、小川町ファンを増やしていきます。またクラウドファンディング型については、ふるさと納税の趣旨に合致しますので、積極的に導入を考えていきます。



ホンダとの共同整備は、町にとって絶好のチャンス。

しばさき まさる
柴崎 勝が問う

野球場予定地活用で町の発展を

Q ホンダとの話し合いはこれまでに何回行ない、また要請しているのか。

A 生涯学習課長 総合運動場や野球場予定地の活用のお願いについては各部署を訪問した際には、その都度お願いしています。また回数については、昨年は4回程度訪問しました。

Q 野球場の整備が町単独で不可能であれば、ホンダとの共同整備、または土地を無償貸与する考えは。

A 生涯学習課長 現在ホンダとの共同整備、土地を無償貸与する協議は行

Q 新税「森林環境譲与税」と「森林・山平地林再生事業」の関係は。また国の説明責任とは別に町がすることを見せ、理解を得る必要があると考える。森林に関するこれらを活用することで、問題になっている鳥獣被害などの改善につながるのでは。

A 環境農林課長 森林は、さまざまな働きを通じて地域住民の暮らしに影響する公共財です。新法「森林経営管理法」では、管理が行き届かない森林に対し、森林所有者と林業経営者の仲介役となり、森林の循環利用を支援しなくてはなりません。これらの事業は、全てが直接関係するものではありませんが、事業の目的、効果を明確に捉え実践することで、町民の住環境を整えることができると考えます。



昔のように里山、山林の管理がされると新たな未来が見えてくる！

Q 総合運動場への出入り口は現在大型バスは通行できない。整備の予定は。

A 建設課長 町道228号線からのアクセスを検討し、町道228号線の交差点を整備する際、このアクセス道路を考慮した計画で施行しました。現在、計画は進んでいませんが、用地問題が解決次第実施したいと考えています。

旧上野台中学校管理費

Q 7年間町民の利用はほとんどないが、その管理費は。

A 政策推進課長 7年間の管理費の合計は約2500万円、歳入は約340万円ありました。



町道228号線からの総合運動場出入り口付近道路。

わたしの
ヒトコト



清水一美さん（下里一）
Kazuyoshi Shimizu

「有機の里」下里から地域を変える

下里地域は、平成22年度農林水産祭むらづくり部門で天皇杯に輝きました。地域を挙げて有機農業が推進され、今や小川町が全国に名を馳せるまじになりました。

現在私は、地域の営農集団から発展した「農事組合法人下里ゆうき」の代表に指名されています。今後さらに地域を盛り立てるため、植林地を伐採後、観光農園も視野に果樹や花木などを植栽し、地域農業振興と夢の実現のため日々自家農業にも従事しています。



佐藤和子さん（青下田島）
Kazuko Sato

七夕まつりの伝統を守っていきます

生 まれ育った小川町で、毎年楽しみにしている行事は「七夕まつり」。初日、仙元山で上がる花火に我が家の庭先は絶好の鑑賞スポットに早変わり。友人を招いて盛り上がりまじ。

2日目は家族そろって「子供みこし」、これだけは絶対外せません。半被に袖をとおし、髪を束ねると気持ちも引き締まり、お囃子の音色に気分も上々。

親子3代にわたりおみこしを担いできました。この先も我が子が古きよき伝統を守り、継承してくれることを願います。



議員の

聞く



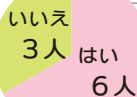
つなぐ

町の

声

「下里さくら祭り」
実行委員会編

議会だよりを
読んだことが
ありますか？



仙元山の公園に
「やまざくら」を
植えることに



さくら祭りの楽しさは

- ・地元の人々で、存分に楽しむ。
- ・町外から来た方に楽しんでもらいたい。
- ・来てくれた人、みんなで楽しむ。
- ・「のんのんびより」ファンも忘れずにね。



「下里さくら祭り」実行委員の皆さん



この際、言わせて！

(原文のまま掲載しています)

- ☆旧分校の桜の木も、老木なので若木を植樹したら。
- ☆旧分校の教室もたくさんの人たちに利用できたらいいね。
- ☆誰にでも愛される分校、みんなの「心のふるさと」にな〜れ。
- ☆もっと近くに駐車場がないとイベント参加者が大変だね。
- ☆旧し尿処理場の跡地はイベント駐車場に借りられないかな。
- ☆河川敷にもイベントのときだけ車を置かせてもらえたら。



分校カフェ・モザートの桜

傍聴から はじめよう!!

どなたでも傍聴でき
ます (事前連絡は不要です)
役場3階にお越しください

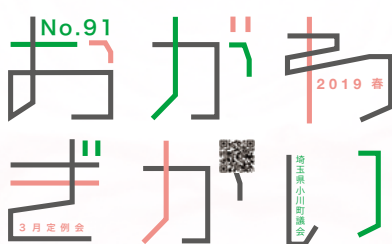
次回定例会は

6月6日(木)~

開会 10時です



傍聴席の
定員は
40人



No.91

小川町議会だより
平成31年3月定例会春号
(令和元年5月1日発行)

発行責任者：小川町議会議長 松本修三

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 笠原規弘 副委員長 田中照子

委員 戸口 勝・井口亮一・高橋さゆり・島崎隆夫

編集後記

「平成」の御代が天皇の御退位によって結び、新しい時代「令和」が始まる。生前退位で御代替わりを生きるすべての世代が喜ぶ。一方、この機を逃すまいと経済活動は躍起になっている。この時代に生まれ、この日本にいるから感じることのできる皇位継承の儀式。こんなときだからこそ、「平成」に感謝をするとともに国柄を改めて振り返り、「令和」の始まりにわが国の新しい可能性や希望を、連休を使って想いを馳せてみようと思う。(戸口 勝)

